

第34回岐阜大学教育研究評議会議事概要

- 1 日 時 令和5年2月16日（木）13時30分～15時5分
- 2 場 所 Web会議
- 3 出席者 松尾、吉田（議長）、杉山、王、山田（敏）、神原、大藪、山田（雅）、内田、村井、光永、肥後、中島、志水、平松、浅井、上田、益川、李、山本、坂本、橋本、竹下、伊藤、西津、山口、矢部、橋本の各評議員
オブザーバー：角間、山田（英）、松原、高橋
- 4 第33回の議事概要を確認した。
- 5 審議事項
 - （1）災害対策室の設置について
杉山評議員から、資料1に基づき、機構全体の防災関係の組織整備にあわせ、本学の大規模災害対策委員会の下に設置されているワーキンググループを廃止し、新たに災害対策室を設置することについて提案があり、審議の結果、了承された。
 - （2）工学部附属宇宙研究利用推進センターの設置について
王評議員及び村井評議員から、資料2に基づき、工学部附属宇宙研究利用推進センターの設置について説明があり、審議の結果、承認された。
 - （3）国際卓越研究大学におけるガバナンスについて
高橋事務局長から、資料3に基づき、国際卓越研究大学に向けた東海国立大学機構のガバナンス（案）について説明があり、審議の結果、承認された。
なお、法人総合戦略会議に機構長・両大学総括理事が参画することについては、ポンチ絵上には記載しないが、申請書本文に明記する旨補足説明があった。
- 6 報告事項
 - （1）岐阜大学の広報に関する基本方針について
杉山評議員から、資料4に基づき、岐阜大学の広報に関する基本方針について報告があった。
 - （2）第3期中期目標期間終了時評価の評価結果（案）について
杉山評議員から、資料5に基づき、令和3年6月末に「第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書」を文部科学省に提出し、ヒアリング及び書面調査を経て、この度評価結果（原案）が示されたことについて報告があった。
また、同じく令和3年6月末に「中期目標の達成状況報告書（第3期中期目標期間終了時）」を大学改革支援・学位授与機構（NIAD）に提出し、書面調査を経て、この度評価結果（案）が示されたことについて報告があった。
なお、文言の修正については、評価室に一任することについて了承された。

- (3) 東海国立大学機構運営支援組織（教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル））の改組について

杉山評議員から、資料6に基づき、東海国立大学機構教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル）に、新たに「地域高等教育基盤センター」を設置するとともに、「アカデミック・セントラル推進企画室室長」を配置し、一層の機能強化を図るため、運営支援組織を改組することについて報告があった。

- (4) 「地域中核・特色ある研究大学の振興」申請に向けた検討状況について

王評議員から、資料7に基づき、「地域中核・特色ある研究大学の振興」申請に向けた検討状況について報告があった。

- (5) 大学教員の雇用について

議長から、資料8に基づき、雇用が決定した者について報告があった。

- (6) 運営会議報告について

議長から、資料9に基づき、運営会議の審議・検討等の結果について報告があった。

- (7) 役員会及び常勤理事懇談会報告について

議長から、資料10に基づき、役員会及び常勤理事懇談会の審議・検討等の結果について報告があった。

- (8) 機構長報告について

松尾評議員から、資料11に基づき、東海国立大学機構の経営や運営にとって重要な国の政策や施策の最新情報について報告があった。

なお、本日本部科学省にて、「ヒューマングライコームプロジェクト」本格始動にかかる記者会見があった旨報告があった。

7 次回の開催について

- (1) 次回は、3月16日（木）大会議室参集により、13時30分から開催することとされた。

以 上